

ご自由にお持ち帰り下さい



人工頭脳Aiとの共存は何処に！…1

教えてください あなたのこと、そしてあなたの大切な家族のこと	…2
恒例！もちつき大会	…3
「2018年 交通安全功労等の感謝状」受賞	…3
こころのサプリメント…平和への祈り	…4
Medeical Healthy Recipe…簡単！アスパラ肉巻き	…4
楽しいので効果有り！ミニ体操	…5
ファミリークリニックきたなかぐすく 受付飾りつけのご紹介	…5
認知症治療病棟について	…6
北中城若松病院 理念・基本方針	…6





Toume's Voice

人工頭脳Aiとの共存は何処に!

北中城若松病院 院長 當銘 正彦

21世紀を迎え、世界は過去にはまるで経験の無い勢いで目まぐるしく進展する情報革命の時代に突入している。スマートフォンがあれば地球のどこにでも電話が通じるし、インターネットを介して世界中のニュースを瞬時に知ることができ、また学術的な最先端の知見も容易に取得することも可能となった。

この情報革命の推進力は偏にコンピューターの発達によるものであるが、そのコンピューターが最近では人工頭脳 Ai (artificial intelligence) と云われるまでに成長し、ヒトの命令に従って計算するだけの機械から、自らが考え、答えを出していくという、まさに「鉄腕アトム」のようなロボットまでが視野に入るようになってきたと喧嘩(けんそう)されている。何よりも衝撃的であったのは、1997年にチェスの世界チャンピオンがIBM社の開発したコンピュータシステム「ワトソン」に敗れ、2017年には将棋・囲碁と立て続けに世界のトップ棋士がコンピューターに敗れるというニュースが流れに至った。この様な背景を受けて、レイ・カーツワイル博士が唱えるシンギュラリティ (技術的特異点)*が2045年には実現するという夢想が大いに現実味を帯びてきている現状である。シンギュラリティの到来には賛否両論が渦巻いているが、それはさて置き、我々の医療界にもAiの参入は待ったなしで投入されている。

果たしてAiは何処までヒトの代わりに仕事をしてくれるのだろうか?

医療は極めて労働集約的な産業と云われるが、肉体的な作業、あるいは知的な作業の軽減化がどこまでAiにとって代わられるのか興味深いところである。「Ai vs 教科書が読めない子どもたち」という東大の数学教授・新井紀子氏が書いた興味深い本がある。それによると、Aiの開発をどの様に進めても東大入試には合格できないことが判明したという。東大合格を目指す受験用ロボットとして7年間の研究開発を続けた結果、偏差値を57.1点まで押し上げることはできたが、東大に合格するには77点の偏差値が必要とのこと。従って、受験用ロボットではMARCH (明治、青山、立教、中央、法政の各大学)には入れるほどの力はあるが、ヒトの感性でしか判断できない様なものは、意外と簡単な問題でも、詰まる所は計算機でしかないロボットがどんなに進歩しても乗り越えることのできない壁があるという。新井氏はシンギュラリティは到来しないと断言している。

翻って我々の取り組む医療を考えるに、今後どれ程Aiが進歩しても、ナラティブな感性を必要とする医療の真髄と、温もりがこもった手による看護・介護が不要になることは、決してないであろうと考えている。

*シンギュラリティ (技術的特異点)…人工知能(Ai)が人類の知能を超える転換点。またはそれがもたらす世界の変化。

教えてください

あなたのこと、
そしてあなたの大切な家族のこと



医療福祉相談課 副主任 新里 尚美

「医療ソーシャルワーカー」、「相談員」と院内でいろいろな呼ばれかたをしていますが、私たち医療福祉相談課の医療ソーシャルワーカーは、医療機関で唯一の福祉職として、入院中に起こる様々な不安や課題に対して必要な情報を提供しながら自己決定をサポートできるようにと考えています。

入院当日、初めて会う患者様とそのご家族へ「出身地はどちらですか?」「これまで入院したことはありますか?」「お仕事はどのようなことをおいくつまでされていらしたですか?」「収入はどの程度ありますか?」等の生活歴や病歴といったプライベートなことについて伺っています。“なぜ、そんなことを聞いてくるの?術後のリハビリで入院しただけなのに…”“肺炎で入院するだけなのに…”と多くの患者様とそのご家族は疑問に思われるかも知れません。

では、なぜそのような事を伺うのかということですが、多くの場合、人は突然の病気や怪我でこれまでの生活に少なからず変化が生じます。家族関係の変化、経済状況の変化、今後の暮らしの見通しへの変化など人により様々です。当院ではこれら

伺った情報をもとに、医師は治療方針、看護はケア計画、リハビリスタッフは訓練内容、相談員は退院支援などにと職種ごとに反映させています。

私たちスタッフは、その患者様が生きてこられた過程や価値観を多職種で共有することで、単に病気や怪我の回復だけではなく、退院後もその方らしく生きていけるように支えようと努めています。たとえ、終末期を迎える方々であったとしても、最期までその方らしく生きることができます。当院ではこれら

上記のような理由からいろいろと患者様やご家族へお話しを伺っておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

恒例！ もちつき 大会

若松苑 作業療法士
高垣 弘志



正月のおもちは健康長寿を願う意味が込められています。平成最後の正月、若松苑デイサービスではもちつき大会を行いました。「レクリエーション」+「リハビリ」を略して「レクリハ」の時間に職員が補助しながら利用者が交代で石臼に杵でもちをつきました。

杵を振ってペッタンペッタンとつくあの光景はやはり盛り上がります。自ら前に出てくれる方、照れながらも杵を持つと全身で力強くつく方、ストップと言われても夢中になってつく方など、反応は様々で個性が表れていました。こういった思わず出てしまう部分は昔から変わっていないのではないかでしょうか。もちつきを通して普段とは違うその人らしさが伺えた時間でした。

これからも季節行事を「レクリハ」活動に取り入れ、楽しみながら運動効果を上げられるよう支援していきます。



もちつき前の準備体操



正月らしいね～

「2018年 交通安全功労等の感謝状」受賞

認知症疾患医療センター
富永 実研



平成31年1月28日(月)に平成30年交通安全功労の感謝状贈呈式が沖縄県警本部にて開催されました。当法人の認知症疾患医療センターが自動車運転に関連した認知症診療を積極的に受け入れていること、診断後の免許返納を勧奨する取り組みや運転中止後の生活課題への丁寧な支援を評価していただいたものです。

今後もアガペ会の理念のもと、社会の願いである交通事故防止や交通安全意識の高揚のため職員一丸となって取り組みます。

平和への祈り

チャプレン室 伊是名 雅弥

沖縄では多くの方々が沖縄戦で親兄弟や親戚、友人を亡くされ、心の痛みをもっておられます。激しい地上戦となって、県民の4人に1人が亡くなつたと言われます。

糸満市摩文仁にある平和の礎には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦で亡くなつた24万人余りの人々の名前が刻まれています。礎に刻まれている名前は、その時代にあって命が与えられ、愛する家族や友人に囲まれて生きておられたことを証するものです。

聖書に神へのささげものの件で、怒りを発した兄のカインが弟のアベルを殺害した出来事が描かれていますが、その時、「あなたの弟の血の声が土の中からわたしに叫んでいま

す」と記されています。

ここで心に留めたいのは、アベルの「血」は複数形が使われていることです。アベルの流された血はアベル個人の命を表わす血であります。同時に、この血の中にはアベルが健在なら家庭をもつことによって与えられるであろう子孫をも含む血であり、その命をも葬られてしまうことを示しています。

聖書は人が人を殺すことの恐ろしさと共に命の尊さを教えています。命が軽んじられ、テロや痛ましい事件が多発する現在、平和への祈りをささげ、平和をつくる者として出来る事を尽くしていきましょう。

Medical
Healthy
Recipe

疲労回復や美肌に！アスパラガス

老健栄養課
古謝 絵里菜

春には旬で美味しい野菜がたくさんあります。春野菜の代表のひとつである、アスパラガスはアスパラギン酸という成分を含んでおり、新陳代謝を活発にし、疲労回復に効果があります。また利尿作用もあり、身体の中の余分な水分が排出されむくみ解消も期待できます。ビタミンCやビタミンEなども含んでおり、ハリのある肌を作るのを助け、肌の老化を抑える作用があり、美肌にも効果のある食材です。そんなアスパラガスを使った簡単料理をご紹介します。食事や弁当の1品、おつまみにも合いますよ。

簡単！アスパラ肉巻き



【材料・2人分】

- アスパラガス ……4本 (80g)
- 塩、こしょう ……少々
- 豚バラ肉 …………4枚 (40g)

【作り方】

- ① アスパラガスは、ピーラーで根元から4～5cmほど皮をむく。
- ② 豚肉は、塩・胡椒をふり、①に巻き付け、半分に切る。
- ③ フライパンを中火で熱し、②を入れ全面に焼き色がついたら、蓋をして2分ほど加熱する。



楽しいので効果有り! ミニ体操

通所リハビリテーションきたなかぐすく

主任代行 金城 良和

当通所リハビリテーションには主に要介護2~5の方が利用するフロアと要支援~要介護1の方が利用するフロアがあります。要介護の方のADL(身の回りの生活動作)の向上や他の利用者様との交流、楽しみづくりを目的に、要支援の方のIADL(掃除や洗濯、買い物等の動作)・QOL(趣味や習慣・風習)の土台作りや各々の生きがいへの取り組みを目的に利用されています。

それぞれ特徴の違うフロアですがどちらも活気が見られます。その中で要支援のフロアでは、利用者主体で行うミニ体操があります。この体操は8~10名で平行棒を取り囲んで行います。集合の号令を掛ける方、体操をリードする方、体操中にツッコミを入れ、笑いを取る方全て利用者様です。この時、職員はリスク管理に注意を払い、体操全体を見守る側に回っています。

体操の内容としては、平行棒を把持しながら立位での足腰の筋力運動、手足のストレッチ、呼吸法と笑い…となっています。和気あいあいとした雰囲気の中で行われるこの体操はリーダーである利用者様の指摘も鋭く、楽しさの中にも真面目な面も見られます。

利用者様も職員も楽しいから効果もあるさ!と毎日行っています。これからも「やるなら楽しく!」を継続していきたいと思います。

ファミリークリニックきたなかぐすく 受付飾りつけのご紹介

医事係



ファミリークリニックきたなかぐすくでは、体調がすぐれない方や診察の待ち時間に少しでも気持ちが和むようにと、四季感のある飾りつけを行っています。押すと音が鳴る鯉のぼりカードを置いた際には、親子で来院されたお子様が楽しそうに押していました。また、ご高齢の方からは手作りの品や飾りつけの演出にお褒めの言葉を頂き、とても嬉しく思います。

これからも飾りつけを通して皆様との会話を楽しみにしています。



認知症治療病棟について

第2病棟 課長 山下 美津子

認知症治療病棟は、認知症の症状のために、
自宅や他の施設での療養が困難な方へ

精神科治療や周辺症状を緩和できるような支援をおこなっています。

認知症のリハビリテーションは進行に応じた対応が必要です。日常生活の中でトイレまで歩く、ベッドから起きて食事をするなど、基本的な動作の能力改善・維持する生活機能回復訓練や、不安感の軽減や生活リズムの改善などを目的として集団で行う精神科作業療法などを行っています。ご本人の意思を尊重し、楽しく笑いあい穏やかな生活が送れるように支援しています。

また当病棟では、ご家族と一緒に時間を過ごして頂くために自宅などへの外出支援も行っています。外出時には、療養者がご家族と一緒に過ごされることでリラックスされ、入院生活とは違った人柄を垣間見ることができます。スタッフも癒やされ暖かい気持ちになります。療養者がご家族と共に食事をし、語らい、触れあい一緒に過ごす時間がいかに大事で貴重な時間であるか実感します。外出の際にはお

手伝いをさせて頂きますのでお気軽にお声かけください。

これからも療養者が、安心して過ごせるような病棟作りを努めてまいりたいと思います。

追伸：病棟入り口には臨床美術の作品を展示しています。創造性豊かな作品が並んでいますので、是非、足を止めてご覧になってください。



北中城若松病院 理念・基本方針

【理念】

老いていく人たちに共感をもち、この方達の身体と心と魂をも、共に支えていける病院

【基本方針】

「何事でも自分にしてもらいたい事は、他の人もそのようにしなさい」（聖書 マタイ7章12節）

- 必要かつ十分な医療をめざします
- 個人の尊厳を尊重した医療サービスをめざします
- 療養生活すべてがリハビリテーションととらえ、療養者の豊かな生活実現のために努力します
- 社会資源を十分に活用し、御家族、地域社会と協力連携を取ることで家庭復帰やより適切な生活の場を考えます



アガペ会理念

アガペに生かされ、アガペに生きる

わたししがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい（聖書 ヨハネ福音書13章34節）

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・一般病棟
- ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟
- ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしゃぎ
- ・認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

- | | | |
|----|----------------------|---|
| 3F | サービス付高齢者住宅 アガペファミリエ | } |
| | 住宅型有料老人ホーム ケアホーム アガペ | |
| 2F | ファミリーデイサービス アガペ | } |
| | | |

- | | | |
|----|---------------------------------|---|
| 1F | ファミリークリニックきたなかぐすく | } |
| | ☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708 | |

- | | | |
|-----|---|---|
| B1F | 通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717 | } |
| | 訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818 | |
| | 訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154 | |
| | ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202 | |
| | ケアプランステーション ゆい
☎/098-935-3066 · 098-935-5968 | |

地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093

クリニック以外の事業所のFAXは 098-935-5855 (共通)

小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地1 (1F)
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

デイサービス きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地1 (2F)
☎/098-935-5343 FAX/098-923-1168

グループホームわかまつ

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 418-2 ☎/FAX/098-935-1021

グループホーム若松 ぎのわん

デイサービス若松 ぎのわん
〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城 1-20-6
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま

新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<http://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております